

履修モデル

学位取得に向けて研究するために、研究課題に即した適切な授業科目を選択しなければならない。そのため、各専修ごとの履修モデルを参考に研究課題に即したオリジナルな履修計画を立てることとなる。

人間生活科学専攻（博士後期課程）

健康・栄養科学専修	研究題目	機能的油脂の調理科学的研究
	養成する具体的な人材像	将来において研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な知識と技術が必要とする業務に従事しうる能力を涵養する。
	研究内容	ひとは食べ物から栄養素を取り込み、成長・活動し、健康な生活を営む。時代の変遷に伴い、ひとの健康に関わる食べ物に関する問題点も変化してきている。現在においては、日本人のアンバランスな食事の取り方が多方面から問題視されている。その中で三大栄養素の一つである脂質の摂取に関しては、特に中高年の男性にメタボリックシンドロームの割合が高いとされる。各々のひとが適した栄養の量を知り、食事から適切な量を摂取することが常に重要な原則となる。そこで、本研究は三大栄養素の一つである食用油脂に焦点をあてて、幅広い機能的有効利用法が可能となることを目的とする。古代から現在に至るまでに扱われてきた食用油脂の種類と調製方法・残留物の扱い、調理加工への使用領域について分類する。さらに、近年、開発されたモノアシルグリセリド、ジアシルグリセリドなどを含むさまざまな機能性をもつ油脂類をその機能性から分類し、油脂類が担う調理科学的役割を位置づける。その上で、どのような油脂類にどのような機能性物質を付与することが有効かつ可能であるかを、実際に食品を用いてモデルケースを組んで試作調製し、その製品についての物性面の評価と官能評価両面から検討を行う。
	指導教員	青江誠一郎教授 栄養学の評価について
	履修科目	食品機能学特論（2単位）、栄養素機能学研究（2単位）、調理素材学特論（2単位） 研究指導Ⅰ（2単位）、研究指導Ⅱ（2単位）

生活環境学専修	研究題目	無文字社会における身体技法による生活文化の伝承とその学習過程
	養成する具体的な人材像	人間の生活を根源的に探求し続ける研究者を養成する
	研究内容	無文字社会で人間は如何に生活文化を伝承してきたかに関する研究を行う。調査対象を東南アジアの山岳少数民族無文字社会に生きる山岳少数民族とし、そこで行われている文化的営為として女性の機織や男性の家の建築を取り上げ、これらの物質文化を人間がその身体技法によってどのように設計し、計測し、道具を用いて製作してゆくのかを研究する。さらにその技術は親から子に、さらに孫に文字を用いずに、どのように伝承しているのか。子どもたちはその技術をどのように学習しているのか。それらの伝承システムはいかなるものであるのか、をフィールド調査とその厳密なデータ化と統計解析によって探求する。
	指導教員	阿部栄子教授 機織の伝承技法に関する指導 金田卓也教授 子どもの発達と技術の伝承に関する指導
	履修科目	発達環境学研究（2単位）、比較子ども文化論研究（2単位）、被服設計学研究（2単位） 研究指導Ⅰ（2単位）、研究指導Ⅱ（2単位）

保育・教育学専修	研究題目	幼児の立体造形におけるイメージと発達段階
	養成する具体的な人材像	保育・教育に関する理論的・実践的な研究と指導に従事できる高度な知識・技術と研究能力を備えた人材
	研究内容	幼児期の造形活動は創造的な表現力の基礎を培う上で極めて重要である。これまでも幼児の造形活動の中で絵画のような平面的描画表現についてはさまざまな研究が行われてきたが、彫塑のような立体的表現に関してはその発達段階も含めて必ずしも十分に目が向けられてこなかった。本研究では幼児が自分で思い描いたイメージを立体造形の中でどのように表現するのか、発達段階に着目しながらそのプロセスを明らかにする。方法としては粘土や木材など多様な素材を準備した幼稚園の造形コーナーにおいて園児が作りたいもののイメージをどのように造形化していくかというプロセスを観察と動画撮影により詳細に記録し、使用された素材と道具と関連付けながら年齢別に分析する。
	指導教員	金田卓也教授 研究全体の指導
	履修科目	発達臨床学特論（2単位）、乳幼児保育学特論（2単位）、比較子ども文化研究（2単位） 研究指導Ⅰ（2単位）、研究指導Ⅱ（2単位）